

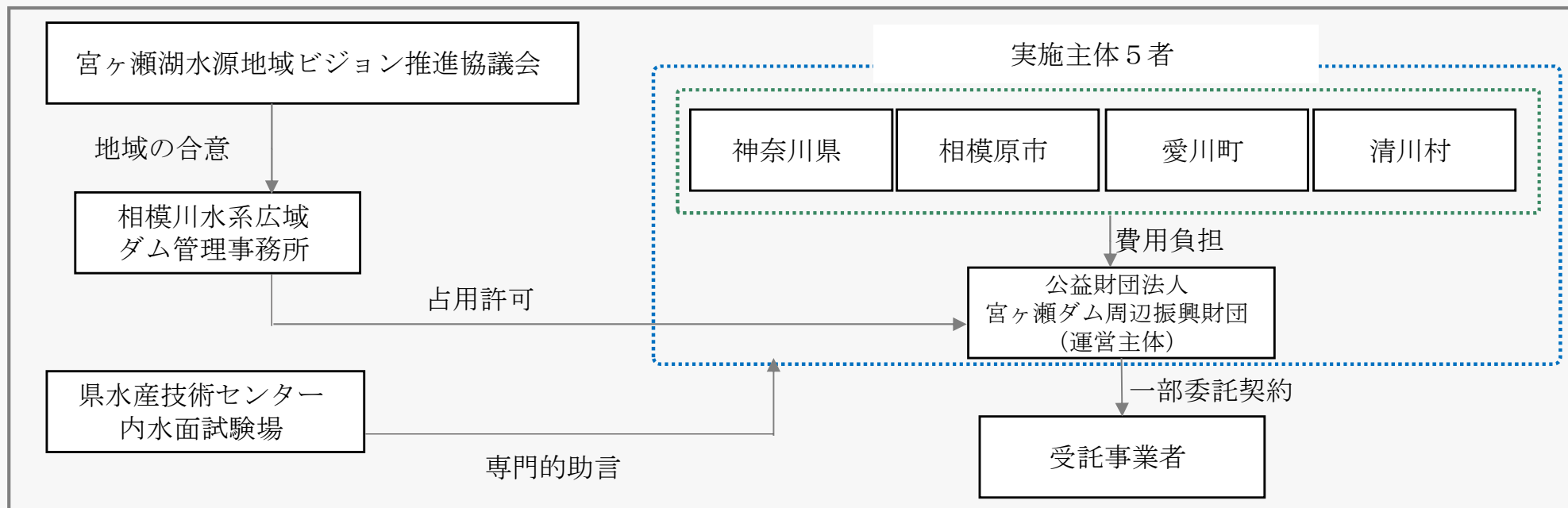
## 宮ヶ瀬湖フィッシング事業

## ■ 具体的使途（経費内訳）

交付対象事業	経費内訳、交付金充当額
<p>1 実証準備（ソフト事業経費） 14,627千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li> <p>・事業構想・計画策定費（負担金：委託料(人件費、需用費)） 7,126千円            2029年度の自走化を見据え、2027年12月から実証事業を開始するに当たり、具体的な事業内容を確定するため、実証事業イメージを技術的に裏付けるための検討を、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団（以下「財団」という。）から事業者に委託する。            （1）実証事業全体の総合調整、実証事業内容、体制等の企画、安全対策の検討等            （2）宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化に繋がる方策の検討</p> </li> <li> <p>・試験放流費（負担金：需用費） 1,799千円            相模川水系広域ダム管理事務所では、1991年度より継続的に河川水辺の国勢調査を実施し、魚類調査を行っている。2022年に実施した国勢調査によれば、宮ヶ瀬湖内においてワカサギはほとんど確認されていないことから、財団により試験放流を行う。必要となるワカサギの卵については、財団が事業者から購入する。</p> </li> <li> <p>・魚群調査費（負担金：委託料(人件費、需用費)） 1,188千円            放流したワカサギの定着場所等を確認するため、財団から事業者に調査を委託する。ワカサギの生息状況は年によって変動することが一般的であることから、調査は2箇年にわたって実施する。</p> </li> <li> <p>・釣りポイント調査費（負担金：委託料(人件費、需用費)） 1,188千円            現地の地形や他の湖面利用状況等をもとに、釣りポイントやドーム船の運航ルート等の検討を財団から事業者に委託する。</p> </li> <li> <p>・事務局運営経費（負担金：人件費） 3,326千円            実証事業開始に当たり、財団内に新規に事務局を立ち上げることから、財団の職員を2名雇用する。</p> </li> </ul>
<p>2 実証準備（備品経費） 1,423千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li> <p>・備品購入経費（負担金） 1,423千円            ワカサギ孵化器を購入する。</p> </li> </ul>

# 宮ヶ瀬湖フィッシング事業

## ■ 実施体制



名称	役割
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業全般の管理</li> </ul>
相模原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業全般の管理</li> <li>統括業務</li> </ul>
愛川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業全般の管理</li> </ul>
清川村	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業全般の管理</li> </ul>

名称	役割
公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業全般の管理</li> <li>事業運営主体</li> </ul>
相模川水系広域ダム管理事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム管理者としての助言</li> </ul>
県水産技術センター内水面試験場	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験放流、行群調査等に係る専門的助言</li> </ul>
宮ヶ瀬湖水源地域ビジョン推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の合意形成</li> </ul>